



## 平成30年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月10日

上場会社名 株式会社プレナス

上場取引所 東

コード番号 9945

URL <https://www.plenus.co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役社長

（氏名）塩井 辰男

問合せ先責任者（役職名）経営管理室長

（氏名）丸山 俊也 TEL 03(6892)0304

四半期報告書提出予定日 平成29年7月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成30年2月期第1四半期の連結業績（平成29年3月1日～平成29年5月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第1四半期	37,169	2.9	2,046	66.2	2,093	66.0	1,205	116.5
29年2月期第1四半期	36,107	△5.1	1,231	△35.3	1,261	△43.3	556	△57.4

（注）包括利益 30年2月期第1四半期 1,229百万円（126.6%） 29年2月期第1四半期 542百万円（△58.7%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第1四半期	31.48	31.45
29年2月期第1四半期	14.55	14.53

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第1四半期	91,342	65,922	71.6
29年2月期	92,736	66,151	70.8

（参考）自己資本 30年2月期第1四半期 65,415百万円 29年2月期 65,651百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	30.00	—	30.00	60.00
30年2月期	—	—	—	—	—
30年2月期（予想）	—	30.00	—	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年2月期の連結業績予想（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	75,000	5.3	3,300	12.8	3,400	12.1	1,900	27.0	49.62
通期	154,700	9.7	7,500	4.3	7,700	1.0	4,300	6.5	112.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料P. 9 「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年2月期1Q	44,392,680株	29年2月期	44,392,680株
② 期末自己株式数	30年2月期1Q	6,103,682株	29年2月期	6,111,176株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年2月期1Q	38,285,418株	29年2月期1Q	38,266,774株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 四半期決算補足説明資料の入手方法について

- ・四半期決算補足説明資料は、平成29年7月10日(月)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 9
(追加情報)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善する中、緩やかな回復基調が続きました。

当外食産業におきましては、業種や業態の垣根を越えた顧客獲得競争の激化に加え、労働力不足による人件費の上昇等から引き続き厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、商品力の強化、効果的な販売促進活動の展開、店舗のQSC(品質、接客、清潔感)向上に努めると共に、収益力の向上、フランチャイズ展開の推進を図り、さらなる事業基盤の強化に注力しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、371億69百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益は20億46百万円(前年同期比66.2%増)、経常利益は20億93百万円(前年同期比66.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億5百万円(前年同期比116.5%増)となりました。売上高につきましては、既存店売上高が前年同期実績を下回ったものの、宮島醤油フレーバー(株)などの新規連結や、新規出店により店舗数が増加したことが要因で前年同期実績を上回りました。営業利益及び経常利益につきましては、円高等による仕入コストの低減や広告宣伝費の減少等により、前年同期実績を上回りました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前述の影響に加え、法人税等の負担の軽減等により、前年同期実績を大きく上回りました。

[国内における店舗展開の状況]

	前連結会計 年度末	新規出店	退店	当第1四半期 連結累計期間末	改装・移転
ほっともっと	2,661店	12店	7店	2,666店	15店
やよい軒	329店	6店	4店	331店	—
MKレストラン	32店	1店	—	33店	1店
合計	3,022店	19店	11店	3,030店	16店

(注)「ほっともっと」には、「BizLunch(ビズランチ)」8店舗を含みます。

[海外における店舗展開の状況]

	展開エリア	前連結会計 年度末	新規出店	退店	当第1四半期 連結累計期間末
ほっともっと	中国	4店	—	—	4店
	韓国	8店	2店	—	10店
	オーストラリア	1店	—	—	1店
やよい軒	タイ	157店	4店	—	161店
	シンガポール	7店	—	—	7店
	オーストラリア	3店	—	—	3店
	台湾	9店	2店	—	11店
	米国	2店	1店	—	3店
	フィリピン	1店	—	—	1店
合計	—	192店	9店	—	201店

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間において、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) 【セグメント情報】のII 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

【ほっともっと事業】

定番商品である「のり弁当」が平日昼限定で290円となるサービスや、人気メニューを週替わりでお得な価格でご購入いただける「週刊ほっともっと」を実施し、お客様の来店頻度向上に注力すると共に、コミュニケーションアプリLINEのほっともっと公式アカウントからキャンペーン、新商品などの情報やクーポンを配信する等、新たな販促活動にも取り組みました。また、それぞれ特徴のある3種類の中から選べるようリニューアルした「ハンバーグ弁当」や、お手頃価格の新メニュー「あっさり塩こんぶとり天井」を発売する等、より魅力ある商品の提供に努めました。

一方で、収益力の一層の強化を図るため、引き続きコストの効率化を図ると共に、コンパクトでより生産性の高い店舗での出店を進めました。また、店舗の改装・移転を積極的に行いました。

フランチャイズ展開につきましては、「ユニットFC制度」を利用して、引き続き新規オーナーの獲得及び既存オーナーの多店舗化に積極的に取り組みました。

以上の結果、売上高は、271億97百万円(前年同期比2.2%減)、営業利益16億55百万円(前年同期比70.2%増)となりました。売上高につきましては、既存店売上高の減少(前年同期比3.0%減)が要因で、前年同期実績を下回りました。営業利益につきましては、円高等による仕入コストの低減や広告宣伝費の減少等により、前年同期実績を上回りました。

【やよい軒事業】

素材や手づくり感にこだわった定食メニューをお手頃な価格で提供することを基本に、見た目のインパクトとボリュームたっぷりの「鶏もも一枚揚げ定食」や、たっぷりの野菜を食べられるバランスの良い「若鶏と野菜の黒酢あん定食」を発売する等、ターゲットとなるお客様の満足度の向上に努めました。また、お客様に快適にご利用いただけるよう、店舗のQSC向上に努めると共に、テレビCMの放映やディスカウントキャンペーンを効果的に実施し、お客様の来店を促進を図りました。

フランチャイズ展開につきましては、「ユニットFC制度」を利用して、引き続き新規オーナーの獲得に積極的に取り組みました。

以上の結果、売上高は74億65百万円(前年同期比2.0%増)、営業利益は4億91百万円(前年同期比102.2%増)となりました。売上高につきましては、既存店売上高の減少(前年同期比1.3%減)、直営店の加盟店への移管があったものの、新規出店により店舗数が増加したことが要因で、前年同期実績を上回りました。営業利益につきましては、円高等による仕入コストの低減等により、前年同期実績を上回りました。

【MKレストラン事業】

豊富な具材と個性豊かなスープが選べるしゃぶしゃぶに、季節限定のスープや特選具材を取り揃える等、商品力の強化に努めました。また、本格飲茶やランチセット、寿司の食べ放題により、お客様の幅広いニーズへの対応を図りました。加えて、店舗のQSC向上に努めると共に、テレビCMの放映やメール会員向けのキャンペーンを実施し、お客様の来店促進を図りました。

店舗展開につきましては、東京都4店舗目となる渋谷井の頭通り店をオープンいたしました。

以上の結果、売上高は8億55百万円(前年同期比1.1%減)、営業利益は44百万円(前年同期比47.8%減)となりました。売上高につきましては、新規出店により店舗数が増加したものの、既存店売上高の減少(前年同期比8.0%減)により、前年同期実績を下回りました。営業利益につきましては、前述の影響に加え、人件費やイニシャルコストの増加等により、前年同期実績を下回りました。

【海外事業】

当第1四半期連結会計期間から、連結子会社北京好麦道餐饮管理有限公司(中国)、Plenus Global Pte.Ltd.(シンガポール)、Plenus, Inc.(米国)に加え、PLENUS AusT PTY. LTD.(オーストラリア)を連結対象としております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、事業の黒字化を目指して売上の拡大とコストの最適化に努めると共に、今後の出店に向けた準備を行いました。

以上の結果、売上高は4億26百万円(前年同期比304.4%増)、営業損失は1億31百万円(前年同期は、営業損失47百万円)となりました。

【その他】

宮島醤油フレーバー(株)は調味料・加工食品のOEM(相手先ブランド名製造)を主な事業としております。また、当社グループ店舗で使用する調味料等の開発も行っております。

以上の結果、売上高は12億25百万円、営業利益は1百万円となりました。

なお、同社につきましては、発行済株式総数の55%を、前連結会計年度末をみなし取得日として取得し、子会社化いたしました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ13億94百万円減少し、913億42百万円となりました。内訳は、流動資産17億60百万円の減少、固定資産3億66百万円の増加であります。流動資産の減少は、現金及び預金19億96百万円の減少、受取手形及び売掛金3億98百万円の減少、商品及び製品5億28百万円の増加などによるものです。また、固定資産の増加は、有形固定資産9億67百万円の増加、無形固定資産62百万円の増加、投資その他の資産6億64百万円の減少などによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ11億64百万円減少し、254億20百万円となりました。内訳は、流動負債11億89百万円の減少、固定負債25百万円の増加であります。流動負債の減少は、支払手形及び買掛金2億16百万円の減少、未払金5億73百万円の減少、未払法人税等11億31百万円の減少、未払費用1億22百万円の増加、未払消費税等1億19百万円の増加、預り金1億49百万円の増加、賞与引当金4億80百万円の増加などによるものです。固定負債の増加は、資産除去債務1億5百万円の増加、長期預り保証金74百万円の減少などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億29百万円減少し、659億22百万円となりました。内訳は、利益剰余金2億20百万円の減少などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成29年4月10日に公表いたしました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,607	21,610
受取手形及び売掛金	3,037	2,638
商品及び製品	4,217	4,745
原材料及び貯蔵品	73	271
その他	3,198	3,106
貸倒引当金	△71	△70
流動資産合計	34,062	32,302
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	30,103	30,476
その他(純額)	10,830	11,424
有形固定資産合計	40,933	41,901
無形固定資産		
のれん	1,558	1,503
その他	656	774
無形固定資産合計	2,215	2,277
投資その他の資産		
その他	15,563	14,898
貸倒引当金	△38	△37
投資その他の資産合計	15,524	14,860
固定資産合計	58,673	59,039
資産合計	92,736	91,342
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,306	6,089
短期借入金	43	32
未払法人税等	2,028	896
賞与引当金	364	844
役員賞与引当金	59	16
ポイント引当金	117	114
株主優待引当金	131	99
資産除去債務	54	7
その他	8,963	8,777
流動負債合計	18,069	16,880
固定負債		
長期借入金	167	161
退職給付に係る負債	58	60
資産除去債務	4,902	5,007
その他	3,386	3,310
固定負債合計	8,514	8,539
負債合計	26,584	25,420

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,461	3,461
資本剰余金	4,827	4,828
利益剰余金	69,134	68,914
自己株式	△11,910	△11,897
株主資本合計	65,513	65,307
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36	38
為替換算調整勘定	102	68
その他の包括利益累計額合計	138	107
新株予約権	195	195
非支配株主持分	304	311
純資産合計	66,151	65,922
負債純資産合計	92,736	91,342



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
売上高	36,107	37,169
売上原価	16,471	17,003
売上総利益	19,635	20,166
販売費及び一般管理費	18,404	18,120
営業利益	1,231	2,046
営業外収益		
受取利息	13	11
受取配当金	0	0
固定資産賃貸料	38	34
受取補償金	-	37
持分法による投資利益	3	-
その他	32	31
営業外収益合計	89	115
営業外費用		
固定資産賃貸費用	13	11
持分法による投資損失	-	22
為替差損	6	15
貸倒引当金繰入額	14	-
その他	25	18
営業外費用合計	59	68
経常利益	1,261	2,093
特別利益		
固定資産売却益	17	-
災害見舞金受取額	1	-
投資有価証券売却益	-	1
特別利益合計	18	1
特別損失		
固定資産処分損	39	25
減損損失	81	65
災害義援金等	30	-
災害による損失	18	-
その他	2	0
特別損失合計	171	90
税金等調整前四半期純利益	1,107	2,004
法人税等	557	791
四半期純利益	550	1,213
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	556	1,205

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日)
四半期純利益	550	1,213
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	2
為替換算調整勘定	△22	15
持分法適用会社に対する持分相当額	-	△1
その他の包括利益合計	△7	16
四半期包括利益	542	1,229
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	551	1,222
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結累計期間において、主要な関係会社の異動はありません。なお、当第1四半期連結会計期間において、PLENUS AusT PTY. LTD. (オーストラリア)は、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ほっと もつと 事業	やよい 軒事業	MK レストラ ン事業	海外事業	計			
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高 (その他営業収入を含む)	27,814	7,322	864	105	36,107	—	—	36,107
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	27,814	7,322	864	105	36,107	—	—	36,107
セグメント利益又は損失(△)	972	243	84	△47	1,252	—	△21	1,231

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ほっと もつと 事業	やよい軒 事業	MK レストラ ン事業	海外事業	計			
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高 (その他営業収入を含む)	27,197	7,465	855	426	35,944	1,225	—	37,169
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	125	15	—	—	140	354	△495	—
計	27,322	7,480	855	426	36,085	1,579	△495	37,169
セグメント利益又は損失(△)	1,655	491	44	△131	2,060	1	△15	2,046

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社1社分であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来の「ほっともつと事業」、「やよい軒事業」に含めていた「海外事業」について、重要性が高まったことに伴い、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。